

平成31年（2019）2月20日

平成30年度（2018）

第4回出雲市議会(定例会)
施政方針質問通告一覧表

平成30年度（2018）第4回出雲市議会（定例会）
 施政方針質問通告一覧表 目次

2月20日（水） 10:00開会			
順 番	会 派 名	議 員 氏 名	ペー ジ
1	真 誠 ク ラ ブ	板 垣 成 二	3～5
2	平 成 ク ラ ブ	山 内 英 司	6、7
3	政 雲 ク ラ ブ	川 光 秀 昭	8、9
4	公 明 党	福 島 孝 雄	10、11
5	市 民 ク ラ ブ	大 谷 良 治	12、13

質問者	22 真誠クラブ 板垣 成二
-----	----------------

質問事項・質問内容

(1) 所信・市政運営のポイントについて

- ① 出雲市の目指すところを、これまでの山陰の経済、文化をリードする元気な地方都市から、日本海側の発展をリードする元気な地方都市にシフトすると宣言されました。
- 市長は市長就任以降、実質公債費比率や将来負担比率などの財政状況を示す指標を好転させ、交流人口の大幅な拡大、県内8市で唯一合併時の人口を維持しているなど、大きな成果をあげてこられました。日本海側の発展をリードする元気な地方都市を目指すと市長の取り組みにも大いに期待するところです。
- 一方で、昨年の方針では、生産年齢人口の減少や、中山間地域における急激な人口減少など多くの課題も抱えていると指摘され、これらの課題解決に向けた市長の思いを述べておられましたが、今回は所信や市政運営のポイントでは言及がありませんでした。勿論、主要施策・主要事業の中で触れていただいています。改めて、出雲市の現状も含め市長のご見解を伺うものです。

(2) 雇用創出2, 500人プロジェクトについて

- ① 商工業について
- ア 出雲市では、有効求人倍率が極めて高い水準にあり、市長ご指摘のように労働力不足の解消が喫緊の課題です。特に、中小・小規模企業は非常に深刻な状況にあります。
- また、企業誘致・工業団地の早期造成、事業承継や創業支援は、新たな雇用創出、地場産業の育成にとって必要不可欠な施策だと思います。
- 改めて課題解決に向けての市長の決意をお願いします。
- ② 農林水産業について
- ア 農業分野について
- a 平成30年度は、「出雲農業未来の懸け橋事業」や「新出雲農業チャレンジ事業」のリニューアルなど、出雲市の農業施策も新たにスタートし、1年が経過しようとしています。この間どのような成果があり、31年度に向けてはどのような課題があり、また、その課題に対しどのように取り組まれようとしているのか伺います。
- イ 林業分野について
- a (仮称)森林環境譲与税を財源として、「新たな森林管理システム」を構築し、森林資源の適正管理、森林施業の集約化を促すと述べられました。林業に携わっておられる団体・個人の皆さんの意見も聴取し、しっかりとした方針を打ち出す必要があると思いますが、市長の見解を伺います。
- 野生鳥獣の被害対策については、これまで防護ネット等の新設に加え、更新にも助成の要望が多く寄せられていました。改めて市長の見解を伺います。また、平成30年度事業として、シカ、イノシシのジビエの利活用に向け、施設整備の支援をしていただきました。今後の課題として、この施設が有効活用されるよう支援が必要だと思います。市長の見解を伺います。

今年に入り、議会の森林・林産業対策協議会で、木材の需要拡大をテーマに市内の3施設を視察しました。その中で菌床を製造する現場も視察しましたが、市内のチップ工場から原材料がすべて供給されており、林業と農業がうまくコラボされ、相乗効果が上がっていると感じたところです。今後更なる生産規模の拡大が期待されており、こうした取り組みに対する支援を積極的にすべきだと思いますが、市長の見解を伺います。

(3) 定住人口キープ17万人プロジェクトについて

① 空き家対策について

ア 空き家対策について建築住宅課内に「空き家対策室」を新設するとのことですが、市民の皆さんへの窓口対応はここで一本化するという方針なのか、これまで空き家対策を担当してきた部署との関係はどうなるのか、ご説明をお願いします。また、NPO法人出雲市空き家相談センターとも連携し、適正管理や民間での利活用、流通促進を図るとのことですが、平成30年度における各地域別の実績をご説明下さい。

② コミュニティ活動推進について

ア コミュニティ活動推進のため、平成29年度に「元気！やる気！地域応援補助制度」並びに「うみ・やま応援センター」を新設されました。どのような実績があり、平成31年度に向け何か課題があったのか、説明をお願いします。

(4) 交流人口1,200万人プロジェクトについて

① 出雲大社の平成の大遷宮を契機として出雲市の交流人口は大幅に増大しました。そしてポスト遷宮事業として、日本遺産「日が沈む聖地出雲」「島根半島・宍道湖中海ジオパーク」及び「国立公園満喫プロジェクト」の3つのプロジェクトの中心的対象が、灯台を中心とした日御碕地域に絞られています。日御碕地域は出雲大社に続く有望な市の観光資源であり、しっかりとした取り組みが必要だと思います。

そして、市内には有望な観光資源となりうる場所が多く存在し、如何に一体感を持った観光施策を展開するのが重要であると思っています。そのためにも2次交通網の整備を推進すべきだと思いますが市長の見解を伺います。

最近、海外からの旅行客が爆買い型から体験型に移行してきたとの報道が多くあります。出雲市には山・川・海・湖と豊富な自然があり、出雲大社や一畑寺をはじめとする神社・仏閣があり、連綿として受け継がれてきた文化や伝統芸能があります。また、それぞれの地域には地域活性化のための種々のイベントも数多く開催されています。滞在型観光を目指す出雲市としてはこれを活用することが重要だと思います。市長の見解を伺います。

(5) 住みやすさNo.1プロジェクトについて

① 緊急伝達システムについて

ア 防災行政無線については、2つの課題があったと思います。一つは斐川地域がアナログ方式であるということ。二つ目は、第2期整備地域が、屋外拡声子局までの整備になっていたということです。今回この2つの課題解決に向け、ポケベル波を活用したシステム構築も視野に方針を出されたことは英断であると思います。ポケベル波の活用実績は他自治体でもありますので、しっかりと研究していただきたいと思います。ただ、防災行政無線は、市の緊急伝達システムを構成する重要な要素ではありますがすべてではありません。市の緊急伝達システム全体をどのように構築するのか、大方針を策定する必要があります。市長の見解を伺います。

(6) 組織・機構の改革について

① 行政センターについて

ア 支所が、窓口サービスに重点を置く行政センターとしてスタートすることになりました。このことについて改めて市民の皆さんへ、その必要性、意義についてわかりやすい説明をお願いします。地域における日常的な道路等の維持業務については、道路河川維持課の分室を平田、斐川、佐田の行政センターに配置することになっていましたが、施政方針では詳細な説明はありませんでした。このことについても触れていただきたいと思います。

質問者	3 平成クラブ 山内 英司
質問事項・質問内容	
(1) 所信について	
<p>① 日本海側の発展をリードする元気な地方都市を目指して ア 3期目の折り返しを迎えるにあたり、長岡市長の意気込みを伺う。</p>	
(2) 市政運営のポイントについて	
<p>① 新年度の取り組みについて ア 新年度は、新たな元号の時代を迎えるばかりでなく、消費税の引き上げや幼児教育の無償化など、大きな変化が複数予定されている。すでに方針が決定している内容や、市民への広報について対応を伺う。</p>	
(3) 雇用創出2, 500人プロジェクトについて	
<p>① 商工業について ア 高齢者の就業について新たな取り組み内容を伺う。 イ 市内における労働力不足の解消は喫緊の課題である。労働力不足の解消策として、地元企業に対しては、賃金アップや副業の奨励など、どのような働きかけを行っていくのか伺う。</p> <p>② 農林水産業について ア 農林水産業の新規就労者支援と、UIターンの促進を一体化した支援や、プロモーション活動の必要性について考えを伺う。 イ 出雲の海応援隊事業の「応援隊」の組織規模、募集方法を伺う。</p>	
(4) 定住人口キープ17万人プロジェクトについて	
<p>① コミュニティ活動の推進について ア うみ・やま(中山間地域)応援センターの体制をどのように強化され、それによって期待される効果を伺う。 イ コミュニティ活動の推進については、住民の自治会参加が不可欠であるが、市の考えを伺う。</p> <p>② ふるさと納税について ア ふるさと納税の具体的目標額(企業版を含む)、現在の返礼品参加企業数を伺う。</p>	
(5) 交流人口1, 200万人プロジェクトについて	
<p>① 日御碕地域の観光振興について ア 新たにオープンする日御碕ビジターセンターの機能と役割について伺う。 イ 日御碕への観光入込客の目標値を伺う。</p>	

② 外国人観光客の誘客について

ア 山陰インバウンド機構や中海・宍道湖・大山圏域インバウンド機構などとの連携による海外へのプロモーション活動の具体的内容を伺う。

イ 外国人観光客の誘客については、キャッシュレス化に向けた取り組みが不可欠であると考えているが、広域連携事業も含め、キャッシュレス化に向けた取り組みがあれば伺う。

③ 出雲観光協会について

ア 出雲観光協会の取得された地域限定旅行業について期待される効果と現在実施されている商品を伺う。

(6) 住みやすさNo. 1プロジェクトについて

① 安心安全

ア 本年10月に施行される幼児教育・保育の無償化によって増加が予想される新たな入園者をどのように想定されているか伺う。

イ 児童クラブについて、市設置クラブの整備や社会福祉法人の参入を進められるなど受入体制の拡充に努められるが、体制を拡充されることで期待されることを伺う。

ウ 義務教育の児童・生徒を対象とする子ども医療費助成制度の新設について拡充された助成制度の内容を伺う。

② 人材育成

ア 初期集中指導教室の内容を伺う。

イ 外国語教育について、教員から児童へ英語教育の必要性を伝える学習も必要と思われるが、その点についての考えを伺う。

ウ ソフトボール女子日本代表が11月に出雲でキャンプされるが、キャンプ期間と現在考えられているイベントについて伺う。

③ 環境

ア 本年7月より、本格的にトキの一般公開が開始されるが、トキによるまちづくりをどのように進められていくか伺う。

(7) 組織・機構の改革について

① 情報政策課の新設について

ア 配置人員と初年度の主な業務内容、期待される成果について伺う。

質問者	5 政雲クラブ 川光 秀昭
質問事項・質問内容	
(1) 市政運営のポイント	
<p>① 「出雲モデル」について</p> <p>ア 県内8市で唯一人口規模を維持している本市の取り組み、すなわち「出雲モデル」の内容について伺います。</p> <p>② 市政運営ポイントが本年度は4つに増えました。</p> <p>ア 1つ目に「ポスト遷宮、2020年に向けた交流人口のさらなる拡大」を挙げられましたが、あと2年しかありませんが、どのような施策を考えておられるのか伺います。</p>	
(2) 雇用創出2,500人プロジェクト	
<p>① 商工業について</p> <p>ア 昨年度も労働力不足の解消が喫緊の課題であると施政方針に挙げられています。出雲市の有効求人倍率は、平成30年8月以降は1.8倍程度の高い値で推移していましたが、12月になってさらに1.95倍まで上昇しました。施策は充分に行われ、効果は得られているのでしょうか伺います。</p> <p>イ 現状の年金制度などでは将来が不安であるため、多くの高齢者は退職後も働きたいと思っているようです。どのような取り組みを考えているのか伺います。</p> <p>ウ 創業などには様々な支援が行われていますが、中小企業の次世代への事業承継に対してはどのような支援が行われていくのか伺います。</p> <p>② 農林水産業</p> <p>ア 新規就農者には初期負担の軽減や、研修などの支援は充実していますが、中年齢層（例えば、退職後）に農業を引き継ぐ場合に受けられる支援について伺います。</p>	
(3) 交流人口1,200万人プロジェクト	
<p>① 日御碕地区の観光について</p> <p>ア 日御碕ビジターセンターが新たにオープンします。その役割について伺います。</p> <p>イ 灯台のライトアップイベントへ参加する観光客の交通手段について伺います。</p> <p>ウ 日御碕地区だけではなく、市内の他の観光地（例えば、トキ）との連携（点を面に）も必要だと思いますがどのように考えているのか伺います。</p> <p>② 外国人観光客について</p> <p>ア 誘客に向けたSNSなどによる情報発信は行われていますが、出雲市での満足度はどうでしょうか伺います。Web上の情報を利用するとき、経験者の満足度に依存する傾向があります。満足度を高める方策が行われていれば伺います。</p>	

イ RESASによると、外国人観光客が島根県の直前に滞在した地区は、鳥取県、岡山県、広島県、山口県が多く、また直後に滞在した地域では、鳥取、広島、岡山、次いで、東京、大阪となっています。出雲市では、これら外国人観光客の市内での移動がサポート出来ているのでしょうか伺います。

ウ キャッシュレスの進捗状況について伺います。

(4) 住みやすさNo. 1プロジェクト

① 安全・安心について

ア 新たに設置される「原子力防災室」の役割について伺います。

イ 子ども医療費助成制度が新設されました。一部で支給対象外となる世帯もあるようですが、内容について伺います。

ウ 年金で生活している高齢者単身世帯の収入は少く、生活保護制度の「最低生活費」の金額を下回っている場合もあります。現状の制度で支援は充分でしょうか、利用できる制度等を伺います。

② 人材育成

ア 出雲市の企業誘致の進捗によっては、日本語指導を必要とする児童生徒はさらに増加していくことが考えられます。このような状況の中で、「初期集中指導教室」が開設されます。内容について伺います。

イ 芸術文化の中でも舞台芸術など、音楽以外の芸術を始める、行う、ための支援は整っているか伺います。

ウ 新体育館建設基本計画の策定までの手順について伺います。

質問者	15 公明党 福島 孝雄
質問事項・質問内容	
(1) 「所信」について	
<p>① 「日本海側の発展をリードする元気な地方都市」について伺う。</p> <p>ア 元気な地方都市をめざす上での行財政改革の進め方。</p> <p>イ 出雲市の中で人口減少が進む周辺地域の将来像。</p>	
(2) 「市政運営のポイント」について	
<p>① 「若者が夢を描ける多様な雇用の実現」について伺う。</p> <p>ア 雇用環境も含め、今後工業団地の整備により、遠距離からの通勤も今以上に増えると想定される上で、斐川工業団地周辺の交通渋滞の解消が喫緊の課題である。今のような予算付けではなく、出雲市の発展のための特別枠として早期の解消を望むが、見解を伺う。</p> <p>② 「本格化する多文化共生社会に対応する施策の展開」について伺う。</p> <p>ア 外国人の就農について、モデル農園と就農の具体案と、市民との関わり合いを伺う。</p>	
(3) 「雇用創出2, 500人プロジェクト」について	
<p>① 「商工業」</p> <p>ア 高校・大学の地元企業への就職に向けて、県外進学者の市内就職を推進する上での、奨学金返還免除制度の活用状況と今後の取り組みについて伺う。</p> <p>イ 高齢者就業支援の内容と、対象となる年齢を伺う。</p> <p>ウ 空き店舗活用の課題解消の施策を伺うとともに、小中学校廃校舎への企業の利活用の推進及び、企業マッチングの考えを伺う。</p> <p>② 「農林水産業」</p> <p>ア 米の消費減少による将来の需給バランスと水田フル活用の今後の取り組み・課題を伺う。</p> <p>イ 出雲市に於けるスマート農業の将来像を伺う。</p> <p>ウ 平成30年度の新出雲農業チャレンジ事業の成果と、「宍道湖西岸地区営農計画推進事業」を組み入れた理由を伺う。</p> <p>エ 今後の農地集積の課題と小規模個人農家への支援策を伺う。</p> <p>オ 農業形態の変化による、ため池の防災減災に向けた整備の受益者の捉え方と、受益者負担1%の考え方を伺う。</p>	
(4) 「定住人口キープ17万人プロジェクト」について	
<p>① 「定住促進」について伺う。</p> <p>ア 移住・定住促進住まいづくり助成事業による、中山間地域活性化の、いままでの成果と今後の具体策を伺う。</p>	

(5) 「交流人口1, 200万人プロジェクト」について

① 「出雲の食文化PR事業」について伺う。

ア 出雲の魅力発信に向けて、小額予算でのPR及び、交流人口を増やすための策として、外部からの知識導入も必要と考えるが、現状及び、見解を伺う。

(6) 「住みやすさNo. 1プロジェクト」について

① 「安心・安全」について伺う。

ア 災害対応体制強化を図る上で、各地区災害対策本部（43本部）での要支援者避難計画について、作成にバラツキがあるが、作成期限と市の関与を伺う。

イ 通学路の危険ブロック塀の調査及び、今後の対応策を伺う。

ウ 高齢者運転免許自主返納支援策について、周辺自治体との格差に対しての見解を伺う。

エ 「新たな子ども医療費助成制度」について拡充した経緯と将来の展望を伺う。

オ 生活困窮者支援での、生活保護前の自立支援策の具体案を伺う。

(7) 「組織・機構の改革」について

① 斐川行政センターについて

ア 産業建設課から本庁直属の「斐川農業事務所」に移行に伴う業務内容及び、職員数を伺う。

質問者	9 市民クラブ 大谷 良治
質問事項・質問内容	
(1) 「所信について」	
<p>① 所信について</p> <p>ア 3期目の市政運営の折り返し点となりますが振り返り、今後、特に力を入れていく事は何か</p> <p>イ 出雲ブランドは全国に知られつつあるが、あらためて市長の目指される出雲のブランド化はどのようなものか伺う</p>	
(2) 「雇用創出2,500人プロジェクト」	
<p>① 商工業について</p> <p>ア 「出雲市地場中小企業・小規模企業振興条例」が成立し、昨年11月には県内市町村で初めて市内企業を対象に中小企業支援施策の基礎資料とするために全数調査をされています。この実態調査で市内企業の現状が正確にわかめると感じているが、新年度からどのような具体策を打ち出していくのか</p> <p>イ 商店街の再生・活性化について、事業承継・空き店舗の開業支援や中心市街地の賑わい創出の実績と今後の具体策を伺う</p> <p>ウ 企業誘致について</p> <p> a 工業団地の規模と候補地の選定状況</p> <p>② 農林水産業について</p> <p>ア 飼養技術・品質向上への今までの取組みと、今後の具体策について伺う</p> <p>イ 新規就農者支援としてのこれまでの成果とリース団地整備の規模及び内容</p> <p>ウ ため池等の長寿命化対策状況</p> <p>エ 鳥獣被害対策</p> <p> a 防護ネット・電気牧柵等の設置助成拡充の内容</p>	
(3) 「定住人口キープ17万人プロジェクト」	
<p>① コミュニティ活動の推進について</p> <p>ア 地域応援補助制度について（元気！やる気！地域応援補助制度の成果）</p> <p>イ コミュニティセンターの施設耐震化スケジュールと今後の整備方針について伺う</p>	
(4) 「交流人口1,200万人プロジェクト」	
<p>① 出雲縁結び空港の利用促進と機能強化について</p> <p>ア インバウンドの取り込みが必要な中で新規路線を充実させることは必須であるが、空港の機能としては、今後増大していくと予想される需要に対応できないと考えます。今後の利用促進や整備にむけた展望を伺う</p>	

(5) 「住みやすさNo. 1プロジェクト」

- ① 安全・安心のまちづくり
 - ア 防災行政無線整備内容の検討状況
 - a アナログ式防災行政無線設備のデジタル化と戸別受信機の設置整備について検討内容
- ② 人材育成について
 - ア 工科系高等教育機関の将来的立地について
 - a 立地にむけた基本的な考え方、思い

(6) 「平成31年度当初予算」

- ① 一般会計総額、当初予算788億7,000万円となっていますが、これは12月に策定されたばかりの出雲市財政計画を上回るものとなっています。計画の範囲内で収めることが必要ではなかったか伺う

(7) 「組織・機構の改革」

- ① 組織・機構の改革の意義の具体的説明
- ② 機構改革も市長の強いリーダーシップが必要。新年度にむけた決意を